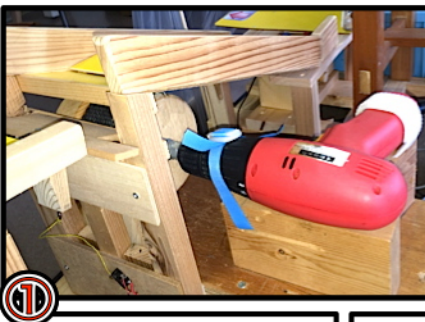
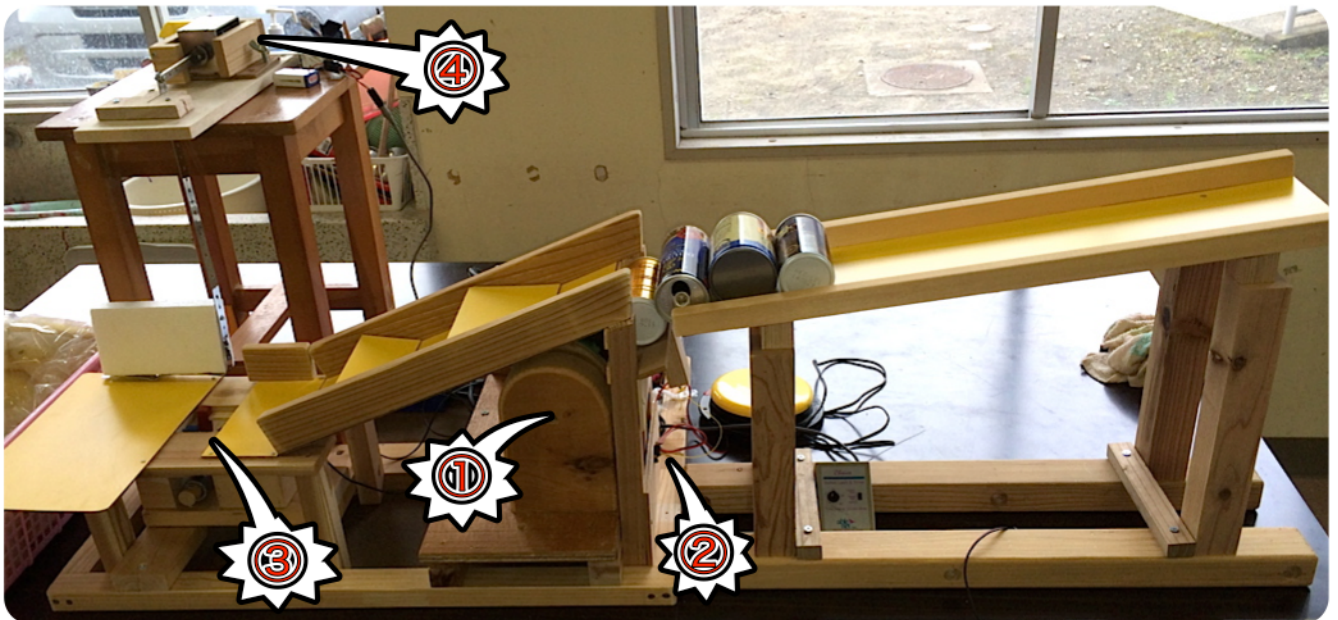


自動空き缶分別装置 缶先生 かんせんせい

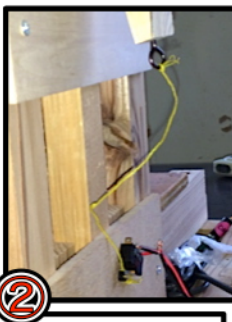


磁石にスチール缶をくっつけてアルミ缶との分別を行う方法はいくつもありますが、どちらかと言うと見た目に地味な作業ばかりです。まるで工場の機械を扱っているかのようなギミック、分別を行っていることが視覚的によくわかる明快さ、作業意欲を高め、且つ達成感を感じられるド派手なアクション、それらを追求すると、こうなりました。



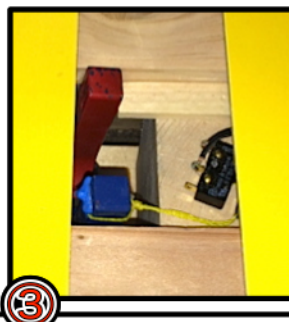
①

手元のスイッチONでドラムに装着したドラムが回転し、1缶載せたリフトを上昇



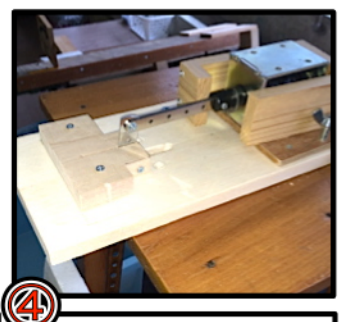
②

リフトが頂点付近に達するあたりでリフト下部の紐が小スイッチをONに。ドラムの回転が止まり、リフトが降下



③

スチール缶が通過すると磁力により磁石が傾き、その動きで④を作動させるための小スイッチが一瞬ONになる



④

電磁石（ソレノイド）の強い力で、スチール缶を勢いよく弾き飛ばす

活動中、終始笑顔で頑張っています。10缶終わるごとに教師へ報告したり、不具合が発生したら即座に知らせたりすることも短期間のうちにできるようになりました。スイッチを入れる、スイッチから手を離す、という反復動作もスムーズになり、毎回目標の数を確実にクリアしています。自信を持って作業に取り組む姿が輝いて見えます！

